

うるし工芸の伝統的な技法

まきえ 「蒔絵」をやってみよう

蒔絵はうるしで絵や文様を描いて、それが乾かないうちに金や銀などの金属粉を「蒔いて」しあげる加飾技法です。体験講座では木製スプーンにカラフルな金属粉を使います。細かい作業が好きな方やオリジナルなモノづくりが好きな方、うるし工芸の入門としてもお勧めです。

参加費：2,000円／人

対象年齢：小学生以上

(小学生以下は保護者同伴をお願いいたします。)

定員：10名(先着順)

と き：令和3年3月21日(日)
10:00~12:00

と ころ：豊田市小原和紙のふるさと
和紙とうるし工房
(入口直ぐの建物です。)

服 装：マスク、蒔絵体験ではうるしを使います。汚れていい服装やエプロンなどをご準備ください。また、うるしが直接つかないような長袖が望ましいです。手袋はこちらで用意します。



【うるしによるかぶれについて】

・かぶれにくく精製された特殊なうるしを使います。広く体験講座、ワークショップ等で使われており、初心者でも安心して使えるうるしとして普及していますが、かぶれに対して不安のある方は講座への参加をご遠慮

ください。

これまでに多くの体験講座、ワークショップを開催していますが、かぶれたという報告はいまのところありません。

・かぶれの発症には、体質や体調などによる個人差がありますので、ご了承のうえ、十分にご注意ください。

・かぶれに関しての医療保障などは一切負いかねますので、ご了承のうえ、ご参加ください。

【制作したスプーンの引き渡しについて】

・うるしは温度と湿度が高い状態でゆっくり乾くという天然の塗料で、完成までに時間を要します。当日の引き渡しは難しいので、講師の工房で乾かして、後日レターパックでお届けします。

講師紹介

安藤源一郎（豊田小原和紙工芸会会員）

漆芸家 小原の和紙と漆による「紙胎漆器」に香川漆芸の伝統的な技法「蒨醬」を融合した作品を創作しています。

申込方法

e-mail か FAX で下記の申込用紙を記載し、下記のお問い合わせ先にお送りください。題名を「うるし講座申込」としてください。

- ① 参加者のお名前（一緒に申込される場合も参加者全員のお名前をお願いします。）
- ② 同伴者の方のお名前（小学生以下は必ず保護者の方の同伴をお願いします。）
- ③ お電話番号、FAX 番号
- ④ E-mail アドレス

※3月19日（金）申込締め切り

参加費は講座当日に徴収させていただきます。
お釣りのないようご準備願います。

交通のご案内

バス：名鉄豊田駅から「とよたおいでんバス」小原豊田線上仁木行き「和紙のふるさと」下車

お車：東海環状自動車道 豊田藤岡 I.C、猿投グリーンロード中山 I.C から、瑞浪方面へ 15 Km。

お問い合わせ

豊田市小原和紙のふるさと

〒470-0562 豊田市永太郎町洞 216-1

小原和紙美術館 TEL 0565-65-2151 FAX 0565-66-1001

e-mail washinofurusato@city.toyota.aichi.jp

「蒨繪」講座申込用紙	
体験者お名前	
同伴の方のお名前（小学生以下の方には必ず同伴してください）	
電話番号	FAX 番号
e-mail	